



# 戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

Tel 881-0049・6461

Eメールアドレス [y3totuka@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3totuka@edu.city.yokohama.jp)

FAX 881-9804

## 「みんな同じ」は当たり前？

校長 大谷 珠美

いよいよ今年度もあと2か月になりました。学校に登校する日も6年生は卒業まであと32日。1～5年生は35日になりましたが、学校では、インフルエンザで欠席をする児童が増えてきたので、手洗いや消毒の徹底を朝会や放送で伝えています。残りの日々を元気に過ごしてほしいと思っています。

さて、先日、横浜市人権推進協議会に出席してきました。そこで、教育次長が、「『スカート』をはく僕が自分と向き合い友達や学校に発信して学校を巻き込んで校則が変わった。だから、勇気を出して自分のことを話したことをたくさんの人に理解してほしい。」という今年度の人権作文で最優秀賞を受賞した生徒の作文を紹介しました。

私たちは一人ひとり、立場や境遇を異にしており、ものの見方や考え方、興味、関心など多くの点で「違い」があります。それは、「個性」であり、「自分らしさ」ともいえます。今の時代を生きる私たちには、こうした他者の「個性」や「自分らしさ」といった「違い」を認め合い、尊重し合いながら生きていくことが必要ではないでしょうか。「違い」が問題になるのは、学校や職場、地域社会など多くの人が集まる場だけとは限りません。時には、家族の中でも自分とは異なる考え方にふれ、戸惑いを感じることもあるでしょう。自分と異なる考え方やものの見方をもつ人に出会ったとき、相手を否定するという態度は決して良い結果を生みません。また、うわべだけ相手に合わせたとしても、自分自身の心の中にわだかまりがあると人間関係もぎくしゃくしてしまうでしょう。学校では、「相手を思いやる」とか「相手の立場に立って」という指導をしています。そして、やはり、忘れてはならないのは、自分を大切にすると同じように、相手に対しても尊重し、真摯に向き合おうとする姿勢だと指導しています。そのためにもまず、互いの考えを冷静に話し合い、「違い」は「違い」としてそのまま受け止め、互いに理解していくことから始めることが大切だと感じます。衝突や対立が生じた時も、相手の立場に立って物事をとらえ直すと、相手の思いをよく理解できることがあります。少なくとも、自分の「相手に対する見方」が変われば自分自身の心が穏やかになるでしょう。それは、問題を円満に解決し、より良い人間関係を結ぶだけでなく、自分自身のものの見方や考え方を広げ、人間的に成長していくためにも大切なことです。

人権作文で入賞した生徒の作文の話を聞き、自分から人との違いを受け入れ、自分自身を理解してもらおうとした生徒の勇気には、頭が下がります。また、その生徒の生き方を理解し、共に過ごすその生徒を取り巻く環境を作った学校も素晴らしいと思います。

戸塚小学校には、一般学級、個別支援学級、通級指導教室、特別支援教室など、様々な学びの場があります。そこで学ぶ一人ひとりの児童に寄り添いながら、自立に向けて、または将来の夢や希望に向けて、今必要なことは何か、多くの教職員が話をしたり、児童の思いを聞いたりしています。ちょっと学校に足が向かなくて、どうしようと不安に思っている児童には、児童支援専任や特別支援担当が、担任と連携をとりながら関わっています。どの児童も順風満帆な毎日ではありません。「友達に何か言われたらどうしよう」と人間関係で悩んでいる児童や、一人では抱えきれない悩みをもっている児童もいます。

みんな同じではなく一人ひとり違いがあるからこそ、多様なものの見方が生まれ、より良い学校生活を送るための思いや願い、考え方が集まります。そしてそのような思いや願いをもとに、それぞれの学級が成り立ち、学年ができ、学校が成長していくのだと思います。その中で、互いの違いを大切に、気持ちよく学校生活を送るための努力を怠らないことが大切だと、改めて感じました。